

台湾科技大学との共同ワークショップの開催について

近年、急速に進む情報化社会の進展を担う情報インフラの基盤技術である半導体集積回路と情報通信ネットワークに関して、両大学で行われている研究プロジェクトと最新の研究成果を紹介。半導体集積回路と情報通信ネットワークは、両大学で世界トップレベルの研究・教育が行われている分野であり、両大学での研究活動内容を共有することで、お互いの研究レベルを向上、さらには今後の共同研究への発展につなげようとするもの。本学からの台湾科技大に短期留学中の大学院生および台湾科技大の大学院生も聴講予定で、両大学における当該研究分野の活性化が期待される。

また、この機会に両大学の学長による会談も予定しており、両大学間で行われている様々な交流の内容と効果を確認し、今後の発展のために有益な施策と交流の深化について情報交換を行う予定。両大学の間ではこれまでに、教員相互派遣による授業交換、大学院生のダブルディグリー協定に基づく派遣、学生の短期留学による交流を活発に行ってきた。現在も本学の大学院生 6 名が台湾科技大に滞在し、先方で開講されている授業を聴講。これらの交流実績を踏まえ、両大学がグローバル化を推進していく上での課題と有効な施策について意見交換し、更なる協力関係を築いていくことが目的。

日時：2016 年 9 月 30 日（金）8:40～21:00

場所：国立台湾科技大（台北市大安區基隆路四段 43 號）

交流：1. 電子情報分野における共同ワークショップ

2. 両学長による会談

【参考】九州工業大学と台湾科技大学との交流について

◎台湾科技大学(Taiwan Tech)

⇒台湾台北市に位置する理系・科学技術系の国立大学（在籍学生数 9,861 名）

- ・H21 年、大学間交流協定締結。H22 年、ダブルディグリープログラム協定締結。
- ・交換留学生：2 名（学部 1 名、大学院 1 名）の受け入れ（H27）。
- ・学生交流：本学から派遣⇒H27 年度 17 名、H28 年度 15 名（予定）
：本学で受入 ⇒H27 年度 18 名、H28 年度 10 名（予定）
- ・その他、共同研究や教員・研究者の交流も活発に行われている。



サイエンスカフェ

science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。

第36回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日 時：2016年 9月 30日(金)
18:00 ~ 19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：運動について考える

●ゲスト：^{はやし} 林 ^{あきひろ} 朗弘 氏

(情報工学研究院
機械情報工学研究系 准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要（定員20名）

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509（平日10:00～17:00）

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp



ゲスト紹介

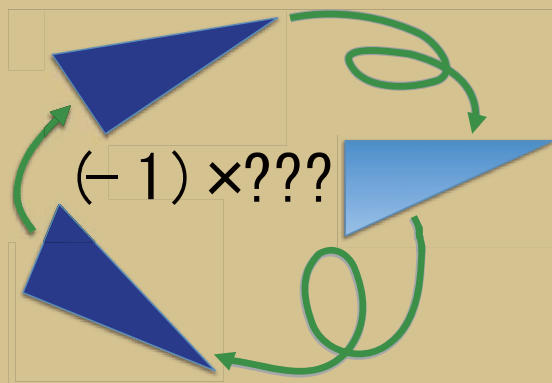
はやし あきひろ

林 朗弘 氏

情報工学研究院
機械情報工学研究系
准教授

物の位置が時間とともに変化する様を運動と言います。私たち自身も含め身の回りにあるものはすべて運動をしています。その運動は単純なものから複雑なものまで様々です。運動とはいったい何なのでしょう。運動にはどんなものがあるのでしょうか。運動はどのように表すのでしょうか。

運動について少し考えてみませんか。



国立大学法人

九州工業大学

情報工学部



報道関係者様 各位 (H28.9.27 現在)

平成28年度 九州工業大学 秋期入学式

平成28年10月3日 (月)

開式時間	対 象 学 生	会 場
11 時 00 分 ～11 時 30 分	《大学院生》	九州工業大学戸畑キャンパス 百周年中村記念館 2 階多目的ホール
	工 学 府 博士前期課程	
	〃 博士後期課程	
	情 報 工 学 府 博士前期課程	
	〃 博士後期課程	
	生命体工学研究科 博士前期課程	
	〃 博士後期課程	

○平成28年度入学者数

工学府	3 6	(5)
博士前期課程	2 0	(2)
博士後期課程	1 6	(3)
情報工学府	4	(0)
博士前期課程	2	(0)
博士後期課程	2	(0)
生命体工学研究科	2 4	(4)
博士前期課程	8	(3)
博士後期課程	1 6	(1)

大学院合計 6 4 (9) 単位：人

※ 大学院合計は、博士前期課程と博士後期課程の総数です。

※ () 内の数は女子学生数で内数です。

○お問い合わせ先

九州工業大学総務課

広報企画係長 用正 拓人

TEL：0 9 3－8 8 4－3 0 0 7

E-mail：sou-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp



World Space Week

Kitakyushu



10月4日～10月10日は、世界宇宙週間です。
九州工業大学の宇宙開発を学んでいる留学生たちが、楽しいイベントを企画しました。
ぜひ、この機会に宇宙をのぞいてみてください。

第1部 サイエンスカフェ&天体観測

2016/10/5(水) 16:30～19:30

- 16:30～ **宇宙ベンチャーに挑戦**
講師:入野 康隆 (SPACE MAGIC 社長)
- 17:45～ **留学生に進路に聞いてみよう!**
九工大には、宇宙開発を学んでいる留学生がたくさんいます。どうして宇宙分野を進路に選んだの?そんな疑問に留学生たちがお答えします。
- 日没後～ **天体観測(望遠鏡で土星などを観察予定)**
※曇天・雨天の場合は天体観測は中止します。

【事前予約】

電話・FAX・e-mailで予約受付中。当日参加も大歓迎。
代表者氏名、参加者数をお知らせください。

会場



九州工業大学 戸畑キャンパス
北九州市戸畑区仙水町1-1

第2部 スペース★ワークショップ

2016/10/10(月・祝) 10:00～16:00

10:00～15:00 ワークショップ(予定)

- ・VRで宇宙遊泳気分
- ・衛星通信を体験しよう
- ・かさ袋ロケットを作ろう!
- ・ペーパークラフトで人工衛星づくり

参加費:無料
申込:不要

15:30集合 ファッションショー

ファッションショー

宇宙をイメージした
服を着て参加しよう!



会場



環境ミュージアム
北九州市八幡東区東田2丁目2-6



詳しくは、こちらから

<https://www.sec.kyutech.ac.jp/event.html>

主催:九州工業大学 理数教育支援センター
協力:大学宇宙工学コンソーシアム、三菱電機株式会社、北九州市、
環境ミュージアム、北九州イノベーションギャラリー
八幡駅前開発株式会社、独立行政法人国際協力機構

【お問合せ先・第1部の予約先】
九州工業大学 理数教育支援センター
〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1
TEL:093-884-3696(代表) FAX:093-884-3697
E-Mail: inquire@sec.kyutech.ac.jp

アクティブ・ラーニングと 高大接続システム改革会議

目的

本研修会では、主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）の促進を含めた「教育改革」、および、平成28年3月31日付で公表された「高大接続システム改革会議『最終報告』」について、特に、高等学校と大学が個々に取り組むべき課題、および、高等学校と大学の連携によって解決すべき課題などについて議論し、その理解を深めることを目的とする。

内容

本研修会では、まず、アクティブ・ラーニングの方法や効果について、ジグソー法の実習を交えて紹介する。次に、進研アドによる「高大接続システム改革会議『最終報告』」についての解説を交えた講演を行い、最後に、その講演を踏まえた上で、大学の教育改革・入試改革・高大接続改革についてのディスカッションを行う。

日時 **10月7日 金**
14:00~17:00

場所 **九州工業大学
サテライト福岡天神
in 天神イムズ11F**

スケジュール

定員 20名

14:00~14:05	開 会
14:05~15:00	講演・実習
15:00~15:10	休 憩
15:10~15:50	講 演
15:50~16:00	休 憩
16:00~16:50	ディスカッション
16:50~17:00	閉 会

講演・実習

14:05~15:00

アクティブ・ラーニング

講師：近藤 秀樹 助教（学習教育センター）

アクティブ・ラーニングの代表的な手法の一つである、ジグソー法について紹介する。具体的な実践手法について解説し、実際に用いられている授業計画に基づいてジグソー法の体験を行う。

講演

15:10~15:50

高大接続システム改革会議「最終報告」における高等学校と大学の課題(1)

講師：中村 浩二 氏（（株）進研アド九州支社 支社長）

本講演では、高大接続システム改革会議「最終報告」について、その内容や目的などについて解説すると共に、今後、高等学校や大学で取り組むべき課題についての情報提供を行う。

ディスカッション

16:00~16:50

高大接続システム改革会議「最終報告」に向けた高等学校と大学の課題(2)

進行：平田 耕一 教授（知能情報工学研究系）

これまでの講演を踏まえた上で、高大接続システム改革会議「最終報告」における高等学校と大学が取り組むべき課題、特に、入試改革と教育改革などについて議論し、その理解を深める。

●申込締切／平成28年10月3日（月）17:00（なお、定員20名になり次第お申し込みを締め切らせていただきます。）

■企画・お問い合わせ 九州工業大学 情報工学部 連携教育推進室 TEL0948-29-7529

■お申し込み 裏面の申込用紙に該当事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。FAX0948-29-7517



高校教員対象研修会

「アクティブ・ラーニングと高大接続システム改革会議」

申込用紙

九州工業大学大学院情報工学研究院宛

受付FAX番号 **0948-29-7517**

申込締切／平成28年10月3日(月)17:00

下記、該当事項を記入の上、上記FAXにてお申し込みください。

高校名
連絡先電話番号
FAX

参加教員情報

1	(ふりがな) 氏 名
2	(ふりがな) 氏 名
3	(ふりがな) 氏 名
4	(ふりがな) 氏 名
5	(ふりがな) 氏 名

■お問い合わせ 九州工業大学情報工学部連携教育推進室 TEL0948-29-7529



国立大学法人 九州工業大学

九州工業大学

大学説明会

九州工業大学は、1907年、私立明治専門学校として、安川敬一郎・松本健次郎父子が巨額の私財を投じて設立認可されました。山川健次郎博士を初代総裁として迎え、「技術に堪能なる士君子」の養成という建学理念のもとに開学し、現在までに日本の産業を支える数多くの技術者を輩出してきました。開学以来100年を超えて、なぜこれほどまでに就職力がある大学となったのか、また、どのように未来へはばたこうとしているのか、九州工業大学の教育力・研究力の秘密を明かしていきます。

九州工業大学 副学長 安永 卓生

日時 9月25日(日)12時～

10月 8日(土)12時～

会場 九州工業大学サテライト福岡天神

(福岡市中央区天神1丁目7番11号 イムズビル11階)

お申し込みは、不要です！直接会場へお越しください！

スケジュール

12:00～16:00 個別相談 入試相談、質問・疑問にお答えします

16:00～17:00 全体説明 九工大について詳しく知りたい方

17:00～18:00 個別相談 入試相談、質問・疑問にお答えします

最新情報は、ホームページでご確認ください！

九工大

検索

問い合わせ：0948-29-7509
(平日10時～17時)



参加無料！

九州工業大学

NEDOシンポジウム

～未来を拓く技術開発に向けた産業界との連携～

平成28年10月17日（月） 13:30～18:15

（13:30～14:00ポスター展示 14:00～17:00シンポジウム 17:15～18:15情報交換会）

九州工業大学が進めているNEDOプロジェクトをご紹介します。
また、基調講演では、NEDOの取組等についてご紹介頂きます。

《プログラム》（プログラム詳細は裏面）

1. ポスター展示
2. 開会挨拶
3. 基調講演「イノベーション創出に向けたNEDOの取組（仮）」
NEDO 福田 敦史 理事
4. 九州工業大学におけるNEDOプロジェクトの紹介1
5. コーヒーブレイク
6. 九州工業大学におけるNEDOプロジェクトの紹介2
7. 閉会挨拶
8. 情報交換会

《会場》 九州工業大学 戸畑キャンパス 百周年中村記念館（住所・地図裏面）

《定員・参加費》 定員100名（先着順）
参加費無料（ただし、情報交換会は会費2,500円）

《お申込み》 裏面を参照のうえ、メールまたはファックスでお申し込みください。
（締切：10月12日）

《お問い合わせ》 九州工業大学 イノベーション推進機構 産学連携・URA領域
（担当：本田、金子）
TEL：093-884-3485 e-mail：kyutech-collabo@ccr.kyutech.ac.jp

主催 九州工業大学
共催 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
後援（依頼中） 経済産業省九州経済産業局、北九州市、公益財団法人北九州産業学術推進機構



九州工業大学NEDOシンポジウム申込（締切 10月12日）

お申込み方法：

- ① F A X 下記にご記入のうえ、093-881-6207までお送りください。
- ② メール 下記の項目について、kyutech-collabo@ccr.kyutech.ac.jp にお送りください。

企業・団体名 _____

①参加者氏名 _____ 所属・役職 _____

②参加者氏名 _____ 所属・役職 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

参加方法 ☐ シンポジウム・情報交換会（会費2,500円）両方参加 ☐ シンポジウムのみ参加
（該当する方にチェックを入れてください。）

プログラム詳細

13:30 ポスター展示
現在進めているNEDOプロジェクトをポスターでご紹介します。
14:00 シンポジウム開会挨拶
九州工業大学 学長 尾家 祐二
14:05 基調講演「イノベーション創出に向けたNEDOの取組（仮）」
講師（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事 福田 敦史 氏
本講演は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と産業界や大学との連携深化及び新たな連携の契機となることを目的としています。
講演の中では、イノベーションの創出に対するこれまでの日本の取組や方向性を紹介し、政府としての役割を明確にしたうえで、日本の課題・現状を紹介します。そして、その課題解決のための日本の成長戦略、NEDOの取組を紹介します。
14:50 九州工業大学におけるNEDO事業の紹介 1
大学院工学研究院機械知能工学研究系 大屋 勝敬 教授
次世代ロボット中核技術開発／次世代人工知能技術分野 「理論知識型AIとデータ駆動型AIの統合による自動運転用危険予測装置の構築と行動実証」
大学院工学研究院先端機能システム工学研究系 竹澤 昌晃 教授
次世代自動車向け高効率モーター用磁性材料技術開発プロジェクト （新規高性能磁石材料の探索に関する検討） 「ナノマニピュレーションによる高温対応Sm-Co/a-Fe系ナノコンポジット磁石の創製に関する検討」
15:40 コーヒーブレイク（ポスター展示）
現在進めているNEDOプロジェクトをポスターでご紹介します。
16:15 九州工業大学におけるNEDO事業の紹介 2
大学院工学研究院電気電子工学研究系 大村 一郎 教授
低炭素社会を実現する次世代パワーエレクトロニクスプロジェクト 「新世代Siパワーデバイス技術開発／新世代Si-IGBTと応用基本技術の研究開発」
大学院工学研究院機械知能工学研究系 平木 講儒 教授
風力等自然エネルギー技術研究開発／海洋エネルギー技術研究開発 「次世代海洋エネルギー発電技術研究開発／潮流発電（相反転プロペラ式）」
16:55 シンポジウム閉会挨拶
九州工業大学 理事・副学長 早瀬 修二
17:15（～18:15） 情報交換会
会費 2,500円

会場：百周年中村記念館
（北九州市戸畑区仙水町1-1）

百周年中村記念館
ポスター展示 1階
シンポジウム 2階
情報交換会 1階

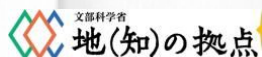


駐車場に限りがありますので、公共交通機関でお越しください。

《お問い合わせ》

九州工業大学イノベーション推進機構
産学連携・URA領域
（担当：本田、金子）
TEL：093-884-3485
E-mail：kyutech-collabo@ccr.kyutech.ac.jp

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの開催及び九州工業大学技術交流会からのご案内以外には使用しません。



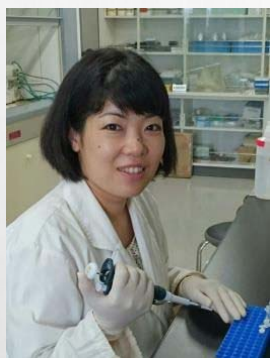
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)
北九州・下関まなびとぴあ事業

理系女子のワークショップ 未来の自分を想像してみよう

日時: 11月19日(工大祭の初日) 13:00-15:00

場所: 九州工業大学戸畑キャンパス

未来型インタラクティブ棟のオープンエリア



**疾患に関わるDNAのカタチと私の
育児のカタチ.**

建石 寿枝 甲南大学 先端生命工学研究所講師

**立ち止まっても、また歩けます。
リケジョの道はいろいろです。**

泉 優佳理 Ganesha Links LLP 代表



**働きはじめて3年半。
若手社員ってこんなもん。**



犬塚 詩乃 徳山積水工業株式会社メディカル製造部
メディカル技術課

パネルディスカッション

2016 総務省プログラミング教育実証モデル 九州ブロック採択

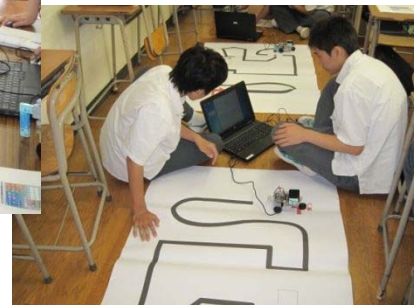
総務省（株式会社電通）が平成 28 年 5 月より公募を行った「若年層に対するプログラミン教育の普及推進」事業において、全国 11 ブロック（各ブロックより 1 件のみ採択）のうち九州ブロックの実証モデルとして、株式会社アーテックと連携した教育プランが採択されました。

※ http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000082.html

昨年度より工学研究院一中尾教授が工学部総合システム工学科の初年次教育および出前講義・模擬授業で行っている「ブロックロボットを使用したプログラミング教育」で、専門知識を必要とせず PC のアイコン（スクラッチ）等でプログラミングを行い、ブロックで作ったロボットを動作させる体験を PBL（課題解決型学習）スタイルで実施するものです。今回は北九州市内の 3 校を実証校として、本学の学生メンターが各校にて 5 回（全 15 回）の教育を実施します。

実証校	対象	日程（平成 28 年）	実施時間
北九州市立 祝町小学校	4～6 年生 12 名	9/16・23/、10/21、11/18・ *25 ※総務省視察日（記者発表予定）	15：15～16：00 (11/18 のみ 14：15～ 2 コマ)
北九州市立 児童文化科学館	4～6 年生 30 名	11/6・23・27、12/11・25	14：00～15：00
福岡県立 戸畑高等学校	1～2 年生	11/4・11、12/2・9・16	17：00～18：00

※戸畑高等学校については日程、実施時間とも変更あり



※ 画像はイメージです
（昨年度実施ブロックロボット出前講義より）